

名古屋税関管内の輸出品から インスタントコーヒー

Nagoya customs

2020 年上半期

- ◆管内 輸出数量・金額ともに全国シェア 1 位
- ◆全国・管内 輸出数量・金額ともに大幅増！

手軽にコーヒーを楽しみたいときに活躍する“インスタントコーヒー”。

忙しい朝から優雅に過ごす休日などいつでもどこでも、手軽に楽しめるコーヒーとして世界中で親しまれています。日常生活に欠かせないという方も少なくないかもしれません。

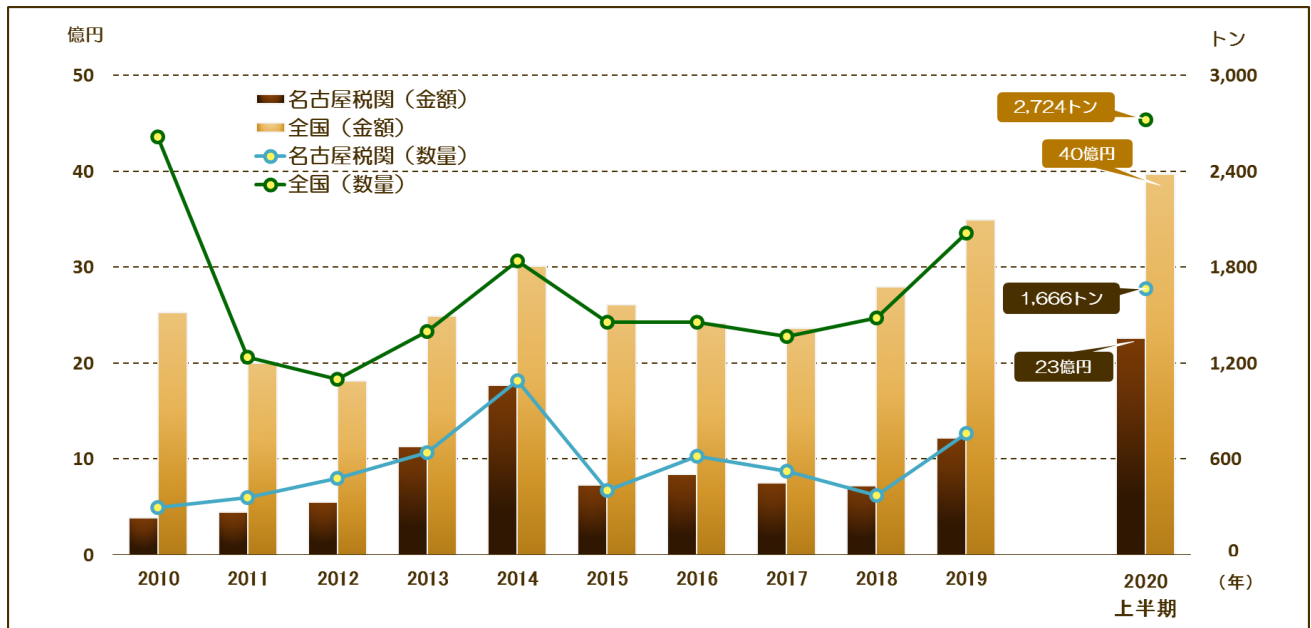
インスタントコーヒーが世界で普及し始めたのは、1900 年代前半で、日本においては、1950 年代に輸入され始めたことをきっかけに、1960 年代以降国産化が進み、一般の人々に広く普及していきました。

輸入をきっかけに広まったインスタントコーヒーですが、現在は輸出されていることをご存知でしょうか。特に、2020 年に入ってから全国及び名古屋税関管内からの輸出が顕著に増加しています。

そこで、今回は名古屋税関管内の輸出品から“インスタントコーヒー”を取り上げたいと思います。コーヒーを片手にブレイクタイムの読み物としていかがでしょうか。

- ・本資料でいう「インスタントコーヒー」とは、輸出統計品目番号「2101.11-100」を指します。
- ・本資料における「名古屋税関管内」とは、名古屋税関が管轄する愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県をいいます。
- ・本資料の輸出数量及び輸出金額について、昨年以前は確定値、当年8月以前は確報値で示しています。

輸出実績推移

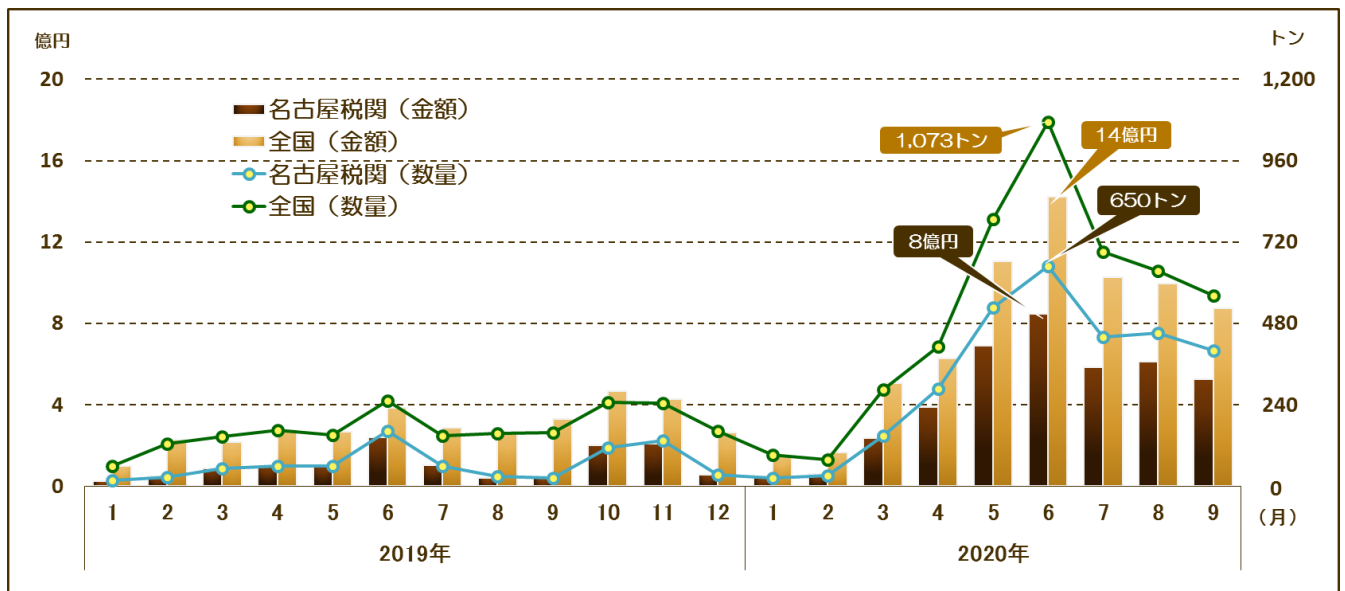


2020 年上半期の輸出実績は、

全国で数量 2,724 トン（伸び率 203.9%）、金額 39 億 6,795 万円（伸び率 171.1%）

管内で数量 1,666 トン（伸び率 347.8%）、金額 22 億 5,998 万円（伸び率 286.9%）

となり、全国・管内どちらにおいても数量・金額ともに、2010 年以降半期として最高値となっており、すでに昨年の年間の輸出実績を超えています。



次に、2019 年からの月別輸出推移をみると、全国・管内ともに 2020 年 3 月からの伸びが著しく、2020 年 6 月にはピークを迎え、

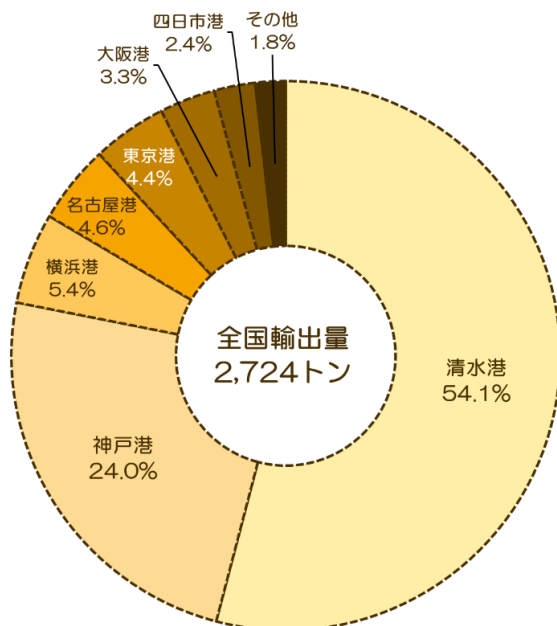
全国で数量 1,073 トン（伸び率 326.4%）、金額 14 億 2,074 万円（伸び率 268.9%）

管内で数量 650 トン（伸び率 302.8%）、金額 8 億 4,740 万円（伸び率 255.0%）

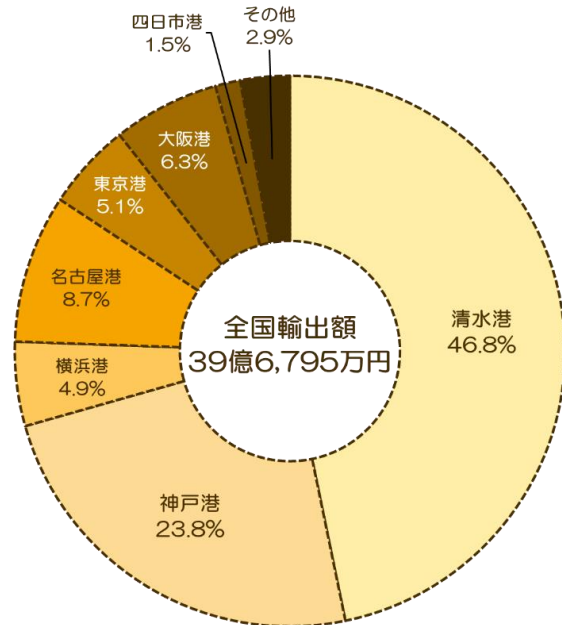
となり、全国・管内ともに月として、2010 年以降最高値となりました。

港別輸出実績

2020 年上半期 数量構成比



2020 年上半期 金額構成比



続いて 2020 年上半期の港別輸出実績です。

港別の輸出構成比をみると、

1 位 清水港 数量 54.1%、金額 46.8%

2 位 神戸港 数量 24.0%、金額 23.8%

となっており、清水港が数量・金額ともに約半数を占めており、全国シェア 1 位となっています。

清水港、神戸港の構成比が高い理由としては、これらの港付近にインスタントコーヒーの製造工場があり、工場に近い港が選ばれていることが挙げられます。

★ “珈琲” の漢字の由来について

江戸時代に海外から伝わったコーヒーは、当初、「可否」、「黒炒豆」等と様々な名称が考えられましたが、ある幕末の蘭学者によって、“珈琲”と漢字表記されることとなりました。

では、なぜそのように表現したのかを漢字の意味から紐解いてみます。

「珈」＝よみ：かみかざり、意味：花かんざし

「琲」＝よみ：つらぬく、意味：かんざしの飾り玉をつなぐ紐

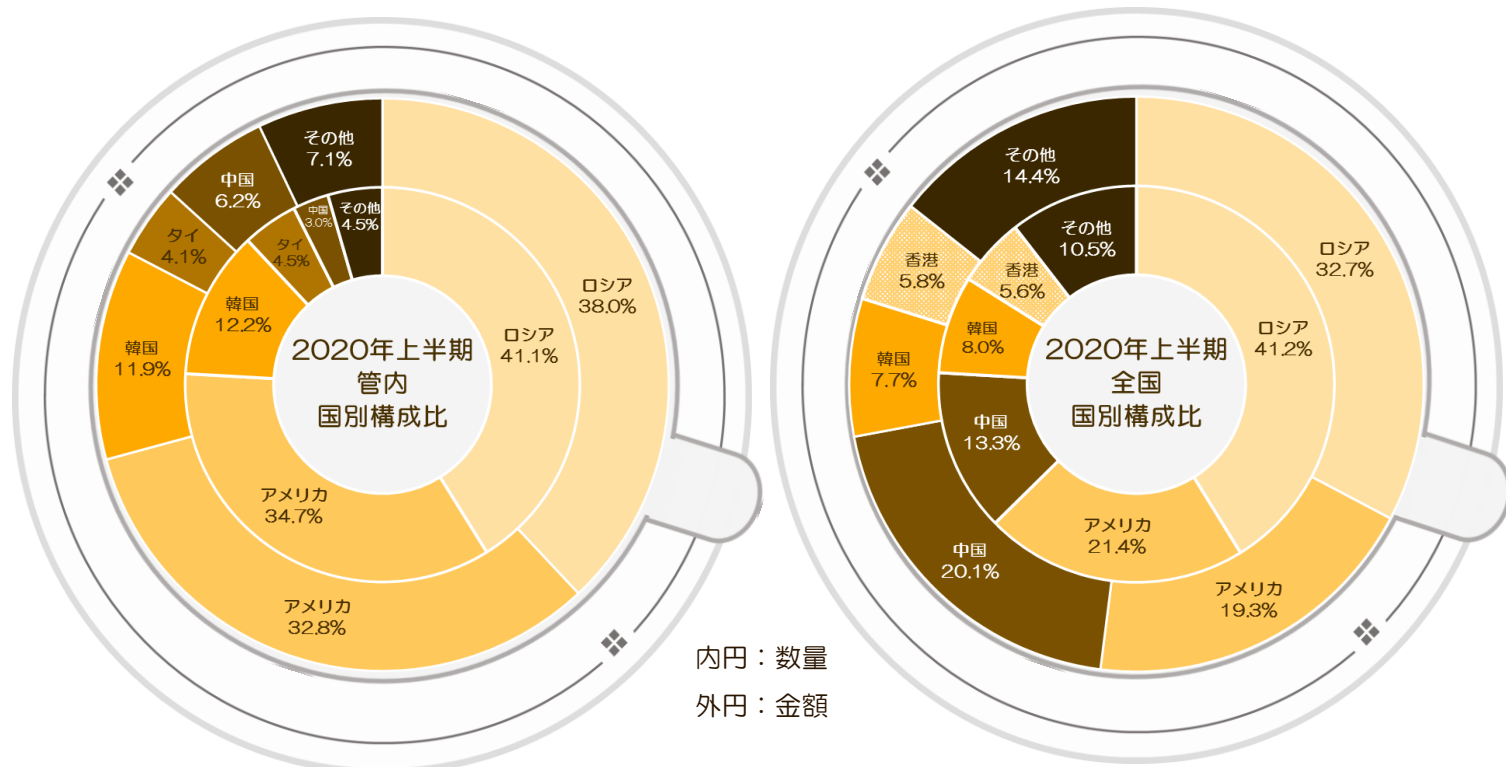
上記より“珈琲”は、女性の髪を彩る「玉飾りのついた花かんざし」を表していることがわかります。

一見、コーヒーと髪飾りは関係がないように感じますが、二つの関係性は右のコーヒーチェリーの写真をみるとわかるかもしれません。よく見ると花かんざしに似ていませんか？

“珈琲”は、コーヒーチェリーを当時の髪飾りに見立てて考案されたのです。あて字ではなく、コーヒー豆のイメージを表す漢字が用いられていたことに驚きですね。



国別輸出実績



2020 年上半期における管内の国別構成比をみると、

- ・ロシア 数量 41.1%、金額 38.0%
- ・アメリカ 数量 34.7%、金額 32.8%

となっており、上位 2 カ国で全体の約 7 割を占めています。

また、全国の国別構成比では、

- ・ロシア 数量 41.2% 金額 32.7%
- ・アメリカ 数量 21.4% 金額 19.3%
- ・中国 数量 13.3%、金額 20.1%

となっており、上位 3 カ国で全体の 7 割超を占めています。

ホッとするワン～



★話題の“ダルゴナコーヒー”知っていますか？

韓国で大人気となった「ダルゴナコーヒー」は、牛乳の上にホイップ状のコーヒーをのせた韓国発祥のドリンクです。韓国のお菓子である「ダルゴナ（カルメ焼き）」と味が似ていることからこのように呼ばれるようになりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、自宅にいる時間が増える中で、材料も少なく簡単に作れることもあり、SNS上で話題となりました。インスタントコーヒー、グラニュー糖（砂糖）、お湯、牛乳のみで手軽に作れる話題のドリンクをぜひ自宅で試してみたいはいかがでしょうか。



画像提供：ネスレ日本株式会社

まとめ

輸出増加の背景について、輸出者によると

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う休業要請や移動制限の影響を受け、世界における需要と供給のバランスを保つため、日本からは特にロシア、アメリカ向けの輸出が増加していること
- ・家庭内における需要の増加が、家庭外での需要減少を上回り、世界的に需要が増加していること
- ・中国において、カフェ等の進出により、若い世代へのコーヒーの認知度が高まっていること

が考えられるとのことでした。

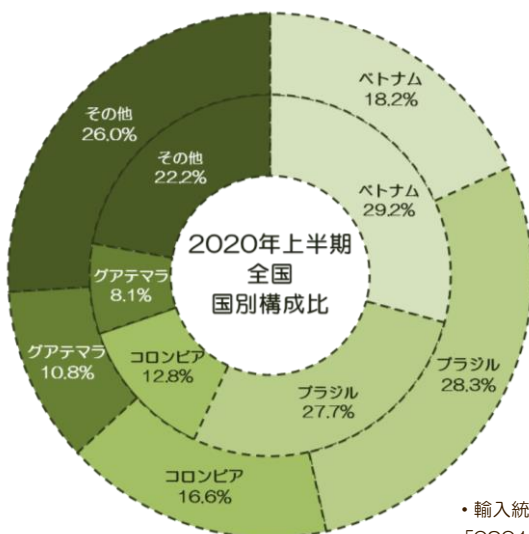
在宅時間が増えている今、インスタントコーヒーを片手に過ごしたり、ときにはアレンジをしておうち時間を楽しんでみたりしてはいかがでしょうか。



★コーヒー豆の輸入について

コーヒーの原料となるコーヒー豆は、主にベトナムやブラジル、コロンビアから輸入されています。ベトナムは、全国における輸入数量が最も多く、さらに世界の生産量ランキングでも、ブラジルに次ぎ世界第2位となっています。日本においてベトナム産のコーヒーは、あまり馴染みがないように感じますが、インスタントコーヒーや缶コーヒーの原料として使用されることが多く、日本でも多くの方に飲まれています。

【コーヒー生豆の国別輸入実績】



【2018年】世界のコーヒー豆生産量ランキング

	国	数量（トン）
1位	ブラジル	3,556,638
2位	ベトナム	1,616,307
3位	インドネシア	722,461
4位	コロンビア	720,634
5位	ホンジュラス	481,053

FAO統計データベース「FAOSTAT」

- ・輸入統計品目番号
「0901.11、0901.12 コーヒー（いったものを除く。）」の実績
- ・内円：数量、外円：金額

資料編

【管内】輸出推移

年	数量(KG)	前年比	全国比	金額(千円)	前年比	全国比
2010年	294,970	43.0%	11.3%	383,903	42.5%	15.2%
2011年	357,052	121.0%	28.9%	442,828	115.3%	22.1%
2012年	479,009	134.2%	43.5%	552,818	124.8%	30.5%
2013年	640,199	133.7%	45.7%	1,126,902	203.8%	45.3%
2014年	1,090,111	170.3%	59.2%	1,769,873	157.1%	58.7%
2015年	405,830	37.2%	27.9%	729,360	41.2%	28.0%
2016年	617,637	152.2%	42.4%	842,693	115.5%	34.8%
2017年	524,796	85.0%	38.4%	751,979	89.2%	31.8%
2018年	374,367	71.3%	25.3%	717,504	95.4%	25.7%
2019年	759,676	202.9%	37.7%	1,222,647	170.4%	35.0%
2020年上半期	1,665,589	447.8%	61.1%	2,259,979	386.9%	57.0%

【全国】輸出推移

年	数量(KG)	前年比	金額(千円)	前年比
2010年	2,616,559	107.3%	2,528,824	88.2%
2011年	1,236,921	47.3%	2,000,721	79.1%
2012年	1,101,167	89.0%	1,813,703	90.7%
2013年	1,399,737	127.1%	2,487,436	137.1%
2014年	1,840,402	131.5%	3,012,887	121.1%
2015年	1,456,022	79.1%	2,607,496	86.5%
2016年	1,457,479	100.1%	2,419,089	92.8%
2017年	1,365,399	93.7%	2,363,051	97.7%
2018年	1,481,805	108.5%	2,791,814	118.1%
2019年	2,013,564	135.9%	3,493,155	125.1%
2020年上半期	2,724,265	303.9%	3,967,946	271.1%

年	月	数量(KG)	前年比	全国比	金額(千円)	前年比	全国比
2019年	1	16,434	79.7%	27.5%	23,943	73.8%	24.9%
	2	25,899	52.8%	20.7%	46,993	56.4%	20.7%
	3	51,303	229.6%	35.2%	86,418	222.1%	39.9%
	4	57,669	154.3%	35.1%	93,151	124.4%	34.0%
	5	59,378	211.0%	39.7%	94,939	191.6%	35.9%
	6	161,256	514.4%	64.1%	238,689	388.8%	62.0%
	7	57,893	493.8%	39.0%	100,885	405.5%	35.5%
	8	28,136	111.6%	18.1%	40,673	69.8%	15.5%
	9	23,557	67.1%	14.9%	38,995	52.3%	11.8%
	10	111,827	283.0%	45.1%	198,588	225.0%	42.5%
	11	133,570	507.6%	54.5%	206,453	434.4%	48.5%
	12	32,754	68.8%	20.3%	52,920	63.4%	20.3%
2020年	1	24,070	146.5%	26.5%	39,513	165.0%	27.2%
	2	30,641	118.3%	39.5%	58,272	124.0%	35.2%
	3	147,927	288.3%	51.9%	234,840	271.7%	46.6%
	4	286,924	497.5%	69.8%	389,088	417.7%	62.1%
	5	526,523	886.7%	66.9%	690,868	727.7%	62.5%
	6	649,504	402.8%	60.5%	847,398	355.0%	59.6%
	7	440,371	760.7%	63.8%	582,941	577.8%	56.8%
	8	451,005	1602.9%	71.1%	610,599	1501.2%	61.3%
	9	399,981	1697.9%	71.1%	524,281	1344.5%	60.1%

年	月	数量(KG)	前年比	金額(千円)	前年比
2019年	1	59,751	71.3%	96,017	69.4%
	2	125,347	101.8%	227,265	103.7%
	3	145,822	135.5%	216,479	120.2%
	4	164,344	105.7%	274,285	92.5%
	5	149,460	156.0%	264,608	150.3%
	6	251,759	229.1%	385,160	202.2%
	7	148,490	160.1%	284,369	176.4%
	8	155,837	148.2%	262,092	202.2%
	9	158,593	120.2%	329,710	176.4%
	10	247,944	154.1%	466,721	130.8%
	11	244,924	184.7%	425,846	128.7%
	12	161,293	88.2%	260,603	141.0%
2020年	1	90,833	152.0%	145,233	151.3%
	2	77,595	61.9%	165,673	72.9%
	3	284,941	195.4%	503,800	232.7%
	4	410,912	250.0%	626,769	228.5%
	5	786,603	526.3%	1,105,732	417.9%
	6	1,073,381	426.4%	1,420,739	368.9%
	7	689,997	464.7%	1,026,223	360.9%
	8	634,329	407.0%	996,677	380.3%
	9	562,181	354.5%	872,685	264.7%

港別構成比(2020年上半期)

港	数量(KG)	前年比	構成比	金額(千円)	前年比	構成比
清水	1,473,286	616.4%	54.1%	1,855,636	546.4%	46.8%
神戸	654,495	406.2%	24.0%	946,026	265.2%	23.8%
横浜	146,254	111.0%	5.4%	196,105	121.2%	4.9%
名古屋	126,298	193.3%	4.6%	346,108	198.9%	8.7%
東京	119,835	77.6%	4.4%	202,203	124.9%	5.1%
大阪	89,463	161.4%	3.3%	248,611	168.0%	6.3%
四日市	66,005	99.9%	2.4%	58,235	84.1%	1.5%
その他	48,629	207.9%	1.8%	115,022	218.8%	2.9%

【管内】国別構成比(2020年上半期)

国名	数量(KG)	前年比	構成比	金額(千円)	前年比	構成比
ロシア	685,275	7464.1%	41.1%	858,932	3120.4%	38.0%
アメリカ	578,642	761371.1%	34.7%	740,812	146986.5%	32.8%
韓国	202,437	91.7%	12.2%	267,882	86.0%	11.9%
タイ	75,696	99.2%	4.5%	92,833	86.9%	4.1%
中国	49,156	291.4%	3.0%	139,587	342.5%	6.2%
その他	74,383	152.9%	4.5%	159,933	165.1%	7.1%

【全国】国別構成比(2020年上半期)

国名	数量(KG)	前年比	構成比	金額(千円)	前年比	構成比
ロシア	1,122,277	2668.1%	41.2%	1,299,013	1288.6%	32.7%
アメリカ	584,204	14865.2%	21.4%	764,464	5088.3%	19.3%
中国	361,760	189.6%	13.3%	796,122	225.0%	20.1%
韓国	217,454	92.7%	8.0%	307,209	87.6%	7.7%
香港	152,749	65.6%	5.6%	230,836	82.9%	5.8%
その他	285,821	148.7%	10.5%	570,302	156.3%	14.4%

※本資料を引用する場合、名古屋税関の資料による旨を注記して下さい。

※本資料に関するお問い合わせは、名古屋税関 調査部 調査統計課 (TEL052-654-4176) までお願いします。

また、貿易統計は名古屋税関 HP でもご覧いただけます。《 <http://www.customs.go.jp/nagoya/> 》

